

傘ぐるぐる

メンバー

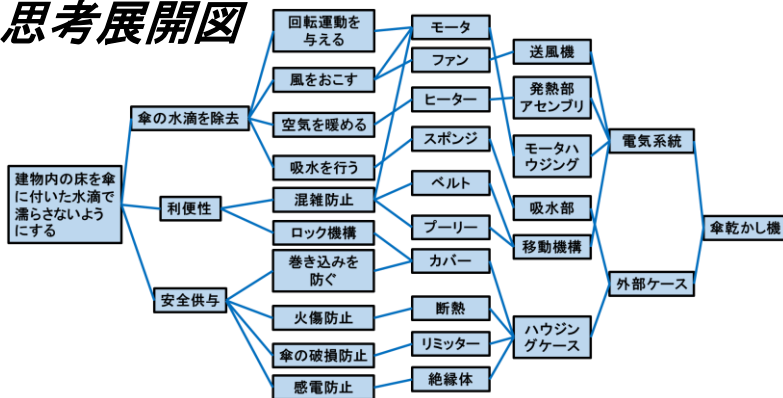
徳田貴文 田中康也 矢野巧 谷口正興 田中孝典

目的・動機

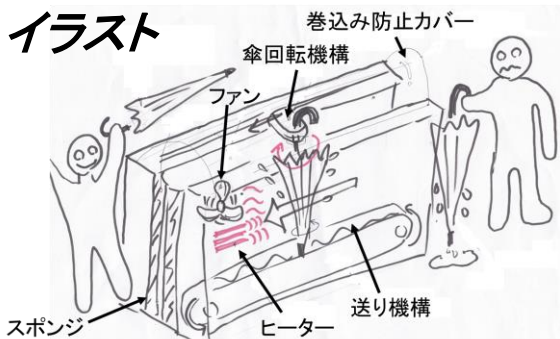
現在、九州工業大学の図書館では、傘袋を利用して建物内の床を濡らさないようにする工夫を行っている。しかし、傘袋では一度使用すると再利用できなくなり、ゴミが大量に発生する。そこで、傘袋に代わる新しい方法を考案することを目的とする。



思考展開図



イラスト



装置概要

- 濡れた傘を装置にセットする
- 傘が回転し始める
- 送り機構によって傘が移動しながら、ヒーターとファンによって傘を乾かす
- スポンジにより最後に拭き取りする

結論

濡れた傘に回転運動および熱風を与えることで、瞬時に乾燥させる装置を考えた。今回例に挙げた図書館などの建物の入り口に設置することで室内が水浸しになることや洋服が濡れる心配をせず快適に活動できる。